

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 松ヶ江北 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
体育の授業は楽しいと感じている児童が、全国平均よりも高く、運動やスポーツへ好意的な態度を持ち、体力合計点の高さにつながっている。記録に挑戦したり競い合ったりする取組や、できなかったことができるようになった達成経験が得られる授業により、体育の授業が楽しいと感じている。朝食に関して「毎日食べる」と回答した児童の割合が高く、全国平均と比べた体力の高さにつながり、様々な生活活動の源となっている。スクリーンタイムに関しては、「5時間以上」と回答した児童の割合が男子は高く、家庭における運動習慣の定着は十分ではない。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

全校で体力向上プログラム・パワーアッププランの活用と、25分以上の運動量の確保、体を動かす楽しさや喜びを実感できる授業展開の工夫を行う。授業の初めにジャンプアップ運動や補助運動をしたり、ドリル、タスク、メインゲームと段階を踏んで活動したりすることで、技能の習得につなげる。タブレット端末の動画機能や学習カードを適宜活用し、めあての設定や振り返り、話し合い活動を行う。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

全校毎週木曜日の朝自習を「松北スポーツタイム」とし、体力向上プログラムをはじめ、多様な動きや運動を経験させることで、放課後の運動習慣化に結び付けるようにする。学校から家庭へとつなげるために、学校通信や学年通信等でも体力向上に向けた取組を発信していく。
